

令和8（2026）年度 事業計画書

公益財団法人 柏崎原子力広報センター

令和8（2026）年度事業計画
（令和8（2026）年4月1日～令和9（2027）年3月31日）

世界最大規模の原子力発電所が立地する地域として、広く県民一般に原子力発電、放射線利用など原子力の平和利用に関する知識の普及啓発を行い、もって地域社会の安全と安心に寄与することを目的とする。（定款から）

- 1 原子力の平和利用に関する知識の普及啓発
- 2 原子力に関する情報の収集及び公開
- 3 原子力防災に関する研修及び育成
- 4 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

総予算 41,460,000円（前年度当初：41,096,000円）

【事業項目】

1 原子力発電に関する広報事業

予 算： 24,850,000円（前年度当初：24,798,000円）

（1）原子力講座（出前講座）・研修

- 目 的：原子力に関する正しい知識の普及啓蒙
内 容：「放射線の基礎知識」、「原子力防災の基礎」等
対 象：県内の一般住民
回 数：5回（令和7年度計画：6回）
期 間：5月～12月
開催形式：①地域・企業等に出向いての講座開催
②希望団体には管内原子力関係施設の見学を組合せて実施

（2）放射線教育研修会

- 目 的：学習指導要領の改正により小中学校の理科教師を対象に、教育現場に役立てもらうための放射線知識に関する研修
対 象：県内の小中学校理科担当教師
（教育委員会、教育センターと連携）
回 数：3回（管内1回、管外2回）（令和7年度計画：3回）
期 間：4月～12月
研 修：放射線教育の推進に役立つ基礎研修講座
会 場：柏崎原子力広報センター、県内の教育センター等

(3) 次世代対象事業

目 的：次世代（小・中学生）を対象に、原子力や放射線の知識の習得と共にエネルギーについて考える場の提供

① 青少年向け科学イベントへの参加

対 象：次世代層・親子

内 容：放射線及びエネルギーに関する体験

回 数：3回（令和7年度計画：2回）

イベント名：科学のえんま市（1回）、刈羽村文化祭（1回）、
わくわく子どもサイエンス教室（1回）

② 放射線教室

対 象：小学生・中学生

内 容：小中学校での放射線及びエネルギー授業

回 数：35回（令和7年度計画：30回）

期 日：5月～12月

開催形式：①学校に出向いての放射線やエネルギーなどについての授業
②柏崎市教育センターが実施する講義において放射線測定器等の資機材提供及び職員サポート

(4) 展示事業

目 的：当センターの展示設備等の利用促進と施設の維持管理

内 容：センター展示設備：アトミューひろば、ライブラリー、
アトミューらぼ等

施設の保守点検：電気、空調、自動ドア、エレベーター等
館内清掃

期 日：4月～3月

(5) ホームページによる情報公開、発信

内 容：講座、研修等についての定期的な情報発信（日常更新は広報センターで実施）

(6) 原子力広報啓発資料の作成と配布

内 容：放射線に関する知識の普及啓発のためのメモ帳等の作成

(7) 原子力関係情報収集

内 容：職員研修・調査、資料収集と整理

原子力広報機関連絡会や原子力関連セミナー等への参加

回 数：2回

(8) 講師情報共有会議

内 容：講師間の情報共有や講座・研修における基本事項の確認の場として年1回開催

2 「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」運営事業

予 算：9,609,000円（前年度当初：9,165,000円）

内 容：定例会12回、運営委員会12回、情報誌「視点」発行6回、県外視察等

3 原子力防災に関する研修及び育成

予 算：5,528,000円（前年度当初：5,640,000円）

(1) 新潟県事業

内 容：消防職員及び自治体防災担当職員等（30km圏内）を対象とした原子力関連施設視察研修（4回）及び柏崎・刈羽地域以外住民への原子力防災研修（出前講座3回）

回 数：7回（令和7年度計画：7回）

予 算：1,942,000円（前年度当初：1,980,000円）

(2) 柏崎市事業

内 容：「原子力地域防災リーダー研修」運営業務

回 数：8回（市職員2回、学生消防団1回、消防団5回）
（令和7年度計画：8回）

予 算：2,528,000円（前年度当初：2,580,000円）

(3) 刈羽村事業

内 容：「原子力地域防災リーダー研修」運営業務

回 数：6回（令和7年度計画：6回）

予 算：1,058,000円（前年度当初：1,080,000円）

4 法人会計

内 容：評議員会、理事会、監査運営等経費

予 算：466,000円（前年度当初：475,000円）